

# m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

2025

— 秋  
冬  
号

“好き”で整えていく、暮らし方







左／東京時代からずっと福井県の家具工房で作り続けていたオリジナルデザインのスツール。カフェで座り心地の良さを体感できる。下／富山の作家のlavoro cicaさんのアクセサリー「トガリヤマのシリーズ」。岩崎さんは、ネックレスを愛用。



右／岩崎さんの愛猫・デカオをモデルにした「デカオブロンズ」は、木彫刻家・はしもとみおさんの作品を黒谷美術（立山町）でブロンズに仕上げたもの。はしもとみおさんの展覧会は、2026年4月下旬に「巣巣」で開催される予定。上／オリジナルデザインの「お盆テーブル」。チークの無垢材ならではの深い味わいが魅力。下／ラトビアで買い付けたピクニックバスケットは、洋服などの収納にも最適。

らリノベーションした店内には、家具デザイナーでもある岩崎さんがデザインし、バリ島の工房に製作を依頼した無垢材の家具や、バリ島の工房でセレクトした家具、絵画、アクセサリーなどが並んでいる。セレクトの基準は、「自分が本当にいいと思うものだけ」。だからか、商品全体に不思議と統一感がある。「お客さんに気に入ったものを持ち帰って、巣づくりをしてもええたら」との思いで、巣巣と名

づけたんです」と岩崎さん。心も暮らしもより豊かになる巣づくりができそうです。

岩崎さんの1日は、愛猫のデカオにご飯を与え、掃除をすることから始まる。その後、お店へ「以前、お客さんから『ありがとう』と言ってもらった時に、単なるお金と物の交換ではなく、気持ちのいいエネルギー交換をしているんだなと思いましたね」と微笑む岩崎さん。あえて予約制にし、ひとつの時間帯に1、2組と人数制限を設けているのは、初めての人にも常連の人にも分け隔てのない接客をし、心地よい時間を過ごしてもらうため。誰もがゆつくりと会話や買い物を楽しめる。合間にカフェで寛げるのもいい。

東京都で生まれ育った岩崎さん。かつては、世田谷区等々力で家具店「巣巣」を営んでいた。店舗の敷地面積は百三十平米。家具が売れたら倉庫で検品し、店頭に運ぶという日々を送っていたが、家具は重く、家賃は高い。



岩崎さん(右)と河岸の共通点は、バンド活動も楽しんでいること。「いつか一緒に!」と話が弾む。

## 家具と雑貨で、 巣づくりのお手伝い。

あのひと  
の暮らし

### 岩崎 朋子

中新川郡立山町 鋳物師 沢ノ巣 SUSU

訪ねた人：河岸 素子

木の香株式会社 前川建築 広報

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちをご紹介しますこのコーナー。

第10回は、立山町で家具と生活雑貨のお店「巣巣(すす)」を営む岩崎朋子さんを、前川建築の広報を務める河岸素子が訪ねました。

昭和40年代に建てられた家屋の良質な材料などを生かしなが





右／立山町にある白雪牧場を舞台に、ミュージシャンの演奏や食事、買い物、ポニーとのふれあいなど、農と芸を楽しめる「立山農芸祭」。岩崎さんは、お手伝いとして参加している。2025年は11月3日の開催予定。左／料理教室『うらら』を主宰する料理家・成沢正胡さんによるお食事会「ナルコ食堂in巣巢」。富山の旬の食材を使った料理を楽しめる。成沢さんが富山を気に入ったこともあり、月に1回のペースで開催。(撮影：大社優子さん)



岩崎 朋子  
Iwasaki Tomoko

1968年東京生まれ。2003年から世田谷区等々力で家具店「巣巢」を営み、15周年を機にクローズ。2019年、立山町へ移住。2020年6月、予約制のカフェと生活雑貨店「巣巢(SUSU)」を再開。2025年6月よりメイン商品を家具に変更。

「いたんですよ」と微笑む。  
人との縁を大切にしている岩崎さん。「巣巢」では、料理家・成沢正胡さんの食事会「ナルコ食堂」や、木彫刻家・はしもとみおさんと硝子作家・金津沙矢香さんの展覧会など、多様なイベントを開催している。友人が主役となったイベントが多く、彼女の周りには明るく楽しい人の輪が広がっている。さらに富山でも友達が増え続けているそうだ。「いい人がいっぱい。毎日が楽しいです」と岩崎さん。その隣で、「私がお店に足を運ぶのは

商品を見るためだけでなく、岩崎さんとお話したいから。私みたいなお客さんも多いんじゃないかな」と話す河岸も、岩崎さんの人柄に惹かれているひとりだ。  
富山に移住したのは2019年だった。「これからは、立山町でもうひとつ空き家を見つけて新しいことを始めたいという野望があって。その時は、ぜひコノカさんにリノベーションを頼みたいです」と、笑顔で展望を口にする。岩崎さんのチャレンジは、立山町で続いていく。



巣巢 SUSU

〒937-0862 富山県中新川郡立山町鑄物師沢201-6  
https://www.susu.co.jp/  
Tel: 076-463-6603  
営業時間／11:00～17:00  
木金土オープン(変更あり) 予約制  
駐車場／4台



WEBサイト



「立山町はすごくいいところ。特に北アルプスの景色と自然のエネルギーが素晴らしい」と岩崎さん。



青森のヒバで作られた窓枠や、ヒノキの柱など、昭和時代の面影を残す店内。庭も既存のままの形で残している。



お店のロゴは、香港のグラフィックデザイナー・アラン・チャンのデザイン。店名には、「お客さんの巣づくりのお手伝いをしたい」という思いを込めている。

ある時ふと現状への限界を感じ、「豊かな自然に包まれて、のんびりと生活雑貨を販売する暮らし」を思い描くようになったという。15年間続けたお店を閉め、1年かけて移転先を探そうと思っていた矢先、「主人の富山への転勤が決まった。それが、富山に移住したきっかけだ。」  
移住後、ふと目に留まったのが、前川建築の「埜の蔵」に関する案内。「月に2回カフェがオープンすると知って興味が湧き、夫と一緒にいったんです。そして、あまりにも素敵な空間で。古民家に憧れてしまって、いきな

りコノカさんのドアを叩いて相談したんです(笑)」。だが、古民家の購入とリノベーションは想像以上にハードルが高いことを知り、方向転換。すると、これまで偶然知り合った人の紹介で、すぐに今の物件と出会った。古すぎず、修繕の必要な箇所が少なく、広さもちょうどいい。造りも丈夫だ。近所の人たちにも恵まれていることが分かり、とんとん拍子で進行。2020年にお店を再開した。

前川建築では、その翌年に一棟貸しの古民家宿「埜の家」をオープン。宿泊室にイラストレーター・福田利之さんの絵を飾る計画を共同で進めていた時ふとした拍子に岩崎さんと福田さんが友人であることがわかり、河岸とともに「巣巢」へ来店した。岩崎さんと河岸も縁を深めていった。「今年、前川建築さんの『ぐらすサウナつるぎ』で開催された福田さんの展覧会に行きましたが、すごく良かったです。他の友達ともそう言うって





9 September

| sun | mon        | tue        | wed | thu | fri | sat |
|-----|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
|     | 1          | 2          | 3   | 4   | 5   | 6   |
| 7   | 8          | 9          | 10  | 11  | 12  | 13  |
| 14  | 15<br>敬老の日 | 16         | 17  | 18  | 19  | 20  |
| 21  | 22         | 23<br>秋分の日 | 24  | 25  | 26  | 27  |
| 28  | 29         | 30         |     |     |     |     |

10 October

| sun | mon          | tue | wed | thu | fri | sat |
|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |              |     | 1   | 2   | 3   | 4   |
| 5   | 6            | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  |
| 12  | 13<br>スポーツの日 | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  |
| 19  | 20           | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  |
| 26  | 27           | 28  | 29  | 30  | 31  |     |

11 November

| sun          | mon                      | tue | wed | thu | fri | sat |
|--------------|--------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
|              |                          |     |     |     |     | 1   |
| 2            | 3<br>文化の日<br>MAEKAWA 感謝祭 | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   |
| 9            | 10                       | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  |
| 16           | 17                       | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  |
| 23<br>勤労感謝の日 | 24<br>振替休日               | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  |
| 30           |                          |     |     |     |     |     |

12 December

| sun | mon | tue | wed | thu | fri | sat |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   |
| 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  |
| 14  | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  |
| 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  |
| 28  | 29  | 30  | 31  |     |     |     |





2.リビングを中心に、ダイニング・キッチンがひとつになった開放的な空間。吹き抜けが2階との一体感も生み出している。左の窓を開ければ、ウッドデッキに出入りできる。3.この太陽のような光を放つランプは、奥様のお気に入り。4.玄関に入ると、真っ先に目に飛び込む、ご主人のサーフボード。今、サーフィンはお休み中だが、体力の維持向上のためにジョギングや筋トレに専念。5.夜には、ロックガーデンのヤシをライトアップ。杉羽目板の外壁に葉の影が映し出され、日中とは異なる表情を楽しめる。



#### tips:4

ウッドデッキを彩るピカクシダ。ご主人自らが、根を水苔で覆う作業を実践した。



#### tips:3

1度に複数人が腰掛けられるダイニングのベンチ。椅子を出す手間が省けて便利。



#### tips:2

ダイニングのアンティークランプ。夜には模様の陰影が壁面に映し出され、美しい景色を創出。



#### tips:1

ウッドデッキには、すぐにバーベキューができるよう、常にバーベキューコンロを完備。



1.ウッドデッキで会話を楽しむご家族。程よい高さの木製フェンスが、外からの視線を緩やかに遮っている。

## あの家の 住まい方

富山市・O様邸  
2020年新築

サーフィンを愛するご主人。今、休日は家族との時間が最優先だが、独身時代は出社前に海へ行くほど夢中だったという。そのスポーツが盛んなカリフォルニア郊外の住宅をモチーフにしたのが、O様邸である。玄関にはご主人のサーフボード、リビングには海を思わせる色使いのソファや、ダイヤモンド・ヘッドの写真、太陽のような光を放つランプなど、ご夫婦の「好き」がたくさん詰まっている。「自然を感じるのが好きです」と話すご主人。吹き抜けから光が差し込む、明るく開放的なリビングが特に気に入っている。ソファで寛いだり、ダイニングのベンチで横になったりと、一人ひとりが思い思いに過ごしながら団らんの時を育んでいる。大きな窓を開ければ、光と風をより体感できるウッドデッキがある。仲間の多いご夫婦が、バーベキューのために作ったと言っても過言ではないスペースだ。実

際に、LDKとつながったひとつの大きな空間として大活躍。月に2回程度、3組の家族を招いて日付が変わるぐらいまで食事や会話を楽しんでいるそう。いい意味で仲間のたまり場となっています。ここに住んでから心にゆとりができました」と笑顔を見せるご主人。休日の早朝には、窓を開けて空気を入れ替えながら静寂の時間を満喫するという、新たな喜びも生まれた。奥様も「友達からは、リゾート地に来たような気分になると言われたことがあります。そんな雰囲気だからか、ここに居るだけで癒されますね」と微笑む。O様邸が誕生してから約5年。息子さんも仲間のお子さんたちも成長して体が大きくなり、バーベキューセットなどのアイテムも増えてきた。「ウッドデッキを拡張して、コンテナを設置したいですね」と微笑むご夫婦。これからも「好き」なモノと人に囲まれる日々が続いていく。★



## 換気扇のお掃除

トイレや洗面脱衣室の換気扇。  
汚れが目立たないからといって放置していると、換気扇の  
ルーバー部分やファンに汚れやほこりがたまって・・・

- ・換気ができなくなる
- ・換気扇の音が大きくなったり、変な音がする
- ・電気代がかかる
- ・故障の原因になる

など様々な不具合が生じます。

トイレでは特にトイレペーパーのチリが詰まりやすいため、3ヶ月に1回(メーカー推奨)お掃除していただくことをお勧めします。

- 1 換気扇の電源を切る
- 2 ルーバー、オリフィス、羽根を外す
- 3 水を入れたバケツに部品を入れて  
台所用中性洗剤に浸ける
- 4 硬く絞った雑巾で換気扇本体を拭く
- 5 部品を水洗いして風通しの良い日陰で乾燥させる
- 6 完全に乾いたら元に戻す

換気扇の詳しいお手入れ方法  
はこちらのQRコードから  
ご確認いただけます→



天井埋込型



バイブファン



i n f o r m a t i o n

### オーナー様限定 MAEKAWA 感謝祭2025

11/30(祝)

10:00~15:00二部制(予定)

会場: 埜の里(前川建築事務所横)

今年も一年の感謝の気持ちを込めて感謝祭を開催します。  
毎年恒例の餅つき、ワークショップの他、皆さまに楽しんで  
いただける企画をご用意してお待ちしております。詳細は後日  
マイホームやDMにてご案内いたします。



参加  
無料

### お知らせ 本誌「maenoha」で お知らせしませんか？

「maenoha」はオーナー様、取引業者様にお送りしている他、  
お取引のある店舗等にも置いていただいております。誌面に  
載せたいことなどありましたら、ぜひお知らせください。

ご連絡はこちらまで → [kouhou@konoka-maeken.jp](mailto:kouhou@konoka-maeken.jp)

### オーナー様の お店がオープンします

9/1月  
オープン

ご自宅も店舗も前川建築で新築させていただいた  
オーナー様のネイルサロンがオープンします。  
黒部市の山間にひっそりと佇む完全予約制ネイル  
サロン・ファスティングサロン「105BASE」が9月1日  
にオープン! 静かな山の中で月1のネイルの時間を  
ゆったり寛いで過ごしていただきたい! ファスティング  
や食育を通してお客様の心と体のバランスを整え  
健康をサポートしたい! という思いからお店をオー  
プンしました。ぜひお越しください。

ご予約、お問い合わせはInstagramのDMから  
@nail\_105base\_akane



## スタッフ紹介

MAEKAWAグループのスタッフに、休日の過ごし方や、お気に入りのモノ・コトを聞きました。

Takahiko Yoshimori

吉森 太家彦

● niwanoso ● お庭の設計

日常の暮らしとお庭が自然  
につながるような空間づくり  
を目指して日々取り組み中、  
少しでも余白の時間を持つこ  
とを大切にしています。休日  
にカフェ探検や神社仏閣めぐ  
り、キャンプを楽しむよう  
になったのは、ゆったりと過  
す時間が何よりの贅沢だと感  
じるようになったから。キャ  
ンプでは、夜の焚火をぼんや  
りと眺めながら無になれる時  
間が、最高のリフレッシュに  
なっています。これからは、  
心惹かれる空間を絵として表  
現してみたいです。自分の感  
性を形にすることで、新しい  
発見があるかもしれません。



お気に入り

ユーフォルビア・フランキアナという多肉  
植物。いびつな形をしていますが、花とも  
サボテンともつかない形がたいフォル  
ムが愛らしく、大切に育てています。

ちよとした  
余白の時間  
が  
心にゆとりを



Shinosuke Sasakawa

笹川 慎之介

● 前川建築 大工

日々、「現場も道具もきれいに  
する」をモットーに、木造住  
宅の施工に向き合っています。  
そんな私の楽しみは、休日に  
愛車で出かけること。約3年  
前にジムニーを購入し、自然  
の風を感じながら駆け抜ける  
爽快感を知ってしまったのが、  
ドライブにハマったきっかけ  
です。以来、樹木に囲まれた  
道路を走ったり、友達と銭湯  
に行ったりして楽しんでいます。  
今の愛車には満足していま  
すが、いつかはアメ車に乗  
りたいですね。私が幼い頃、  
父がアメ車に乗っていて、そ  
のかっこいい姿が今も忘れ  
られないんですよ。



お気に入り

開放感あふれるジムニー。この車に乗って  
いろいろな場所に出かけています。他の車  
にはない特徴を持っているところも、お気  
に入りの理由です。

愛車とともに  
風を感じ  
樹木に癒されて



## 編集後記

残暑厳しい日が続きますが、夏の間にMAEKAWAグループの皆で建築組合主催のソフトボール大会に出場しました。なんと地域ブロックで優勝し、県大会に出場することに！ 仕事後の夜練がんばった甲斐がありました(たった2回ですが)。個人的には社長が全力疾走している姿になんとかほっこりしました。2025年も終盤戦となりましたが、最後まで駆け抜けたいと思います！



m a e n o h a      2025 秋冬号

2025年9月15日発行

企画・取材・文／まえのは編集部

編集／広報部

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／ワークス

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel: 076-462-0611

<https://maekawa-kenchiku.com/>



表紙写真：巣巢店内に並ぶ、犬猫鳥の愛らしい木彫り置物